

再生可能エネルギー一会

1. 現状把握・現状認識

■ 現状

木更津市域における令和3年度温室効果ガス総排出量 約1,080千t-CO₂

■ 内訳

産業部門	約476千t-CO ₂	業務その他部門	約220千t-CO ₂
家庭部門	約144千t-CO ₂	運輸部門	約240千t-CO ₂

■ 課題

ここ数年の排出量は横ばいが続いており、脱炭素なまちづくりが必要である。

2. 取組の進捗

【第5回脱炭素先行地域（環境省）申請関連（R5_連携事業提案制度）】

- 令和6年6月28日 第5回脱炭素先行地域応募申請。
- 令和6年9月27日 結果通知【非選定】
- 令和6年10月8日 環境省関東地方環境事務所からのフィードバック。

1. 現状把握・現状認識

- 現状：令和4年度 温室効果ガス総排出量 約10,408t-CO₂
- 内訳：電気の使用 約76% 燃料の使用 約18% その他 約6%
うち下水処理場 約3,065t-CO₂ (全体のうち約30%)
- 課題：◇公共施設の老朽化により、屋根への再エネの導入が困難である。
◇脱炭素設備の導入による下水道料金の値上げや
新たな費用負担が生じない取組が求められる。
◇指定避難所へのレジリエンス強化が求められる。

2. 取組の進捗

【下水処理場やその周辺施設へのPPA導入】

(連携事業提案制度関連)

- 令和6年 8月28日～ 「R6_連携事業提案制度」による対話申込期間
- 令和6年10月 8日 A事業者との第1回対話
- 令和6年10月24日 B事業者との第1回対話
- 令和6年11月 8日 C事業者との第1回対話(予定)

(グリーンファイナンス関連)

- 令和6年10月10日 第1回グリーンボンド・グリーンローン勉強会

【公共施設へのPPA導入】

- 令和6年4月 連携事業提案制度参加への検討
- 令和6年5月～7月 課題の整理及び現状確認
- 令和6年8月 市内部調整(連携事業提案制度見送り)
- 令和6年9月25日 第2回再生可能エネルギー部会において説明

1. 現状把握・現状認識

- 日本政府は「2035年までに、乗用車新車販売で電動車※100%」という目標を掲げ、クリーンエネルギー自動車の普及と充電設備の設置を車の両輪として推進。
- 充電インフラについては、「グリーン成長戦略（2021年6月改定）」において、2030年までに「公共用の急速充電器3万基を含む充電インフラ15万基設置する」目標を掲げ、これまで4万基を整備。
- 現在、木更津市の公共施設に設置されている公設の充電インフラは道の駅「まくたの里」に設置されている1基のみ。

※「電動車」：EV、FCV、PHEV、HEV

2. 取組の進捗

- 令和5年度～ 「R5_連携事業提案制度」テーマ設定型で選定した株式会社プラグと詳細協議継続。第1基目の設置候補として、金田地域交流センターを候補に協議。
- 令和6年1月～ 金田地域交流センターの整備に活用した「社会資本整備総合交付金」の窓口である国土交通省に県を通じて補助金返還有無の確認。